



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,871	—	238	—	238	—	153	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 103百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	28.19	—
27年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,189	3,481	67.1
27年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,481百万円 27年3月期 1百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,400	—	450	—	460	—	300	55.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) NIC Autotec(Thailand) Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
28年3月期2Q	51,241 株	27年3月期	51,196 株
28年3月期2Q	5,448,768 株	27年3月期2Q	5,448,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加が見込まれる状況となり、また消費税率引上げに伴う消費の低迷も一巡し、個人消費のマインドも緩やかに持ち直しており、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済におきましては、米国と欧州経済において回復がみられるものの、中国及びその他新興国経済の不透明感が継続し、依然として不安定な状況下で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、第1四半期連結会計期間に引き続き、F A装置（F A : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等に使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件を計画通りに納入し、また、海外工場の生産強化を図る自動車業界向け高付加価値のF A装置や、フラットパネルディスプレイ（以下、「F P D」という。）業界向けの大型カスタムクリーンブース等についても順調に売上を伸ばしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,871百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は238百万円、経常利益は238百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は153百万円となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。ご参考として、個別業績について当第2四半期累計期間と前年同期とを比較いたしますと、売上高2,896百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益257百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益257百万円（前年同期比15.1%増）、四半期純利益170百万円（前年同期比20.4%増）となっております。

また、本年1月に設立いたしました海外連結子会社（NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.）につきましては、本格稼働に向けた準備期間中となっており、工場機械設備の設置や在庫品の充実等を図っております。なお、本格稼働は、本年11月下旬からを予定しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用し、「アルファフレームシステム」の付加価値を高めることで競合他社製品との差別化を図り、加えて提案重視の営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品としての販売は、前事業年度後半の好調さが当第2四半期連結累計期間も継続し、売上高は増加傾向となりました。また、継続的な引き合いを受けているF A装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件についても順調に受注を確保いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,363百万円となりました。

なお、F A装置業界向け「アルファフレームシステム」大口案件の受注は引続き好調であり、下半期の需要も活発なことから、通期の受注、売上は順調に推移するものと見込んでおります。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社グループの技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、第1四半期連結会計期間に引き続き、当第2四半期連結会計期間においても複数の自動車部品製造企業に対する洗浄装置、検査装置、試験装置等の売上を計上いたしました。また、F P D業界向けクリーンブース案件も当初予想を上回る引き合いを確実に受注に繋げており、第3四半期以降も順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は1,028百万円となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係の売上高は低調に推移し、機械設備関係に関しても、機械部品製造関連企業の設備投資が前年をピークとして峠を越えたために引き合い件数が減少し、売上高は伸び悩む状況となりました。しかしながら、第3四半期以降に納入となる機械設備関係の引き合いは増加しつつあり、受注確保に向け一層の注力をしてまいり所存であります。

この結果、当部門の売上高は480百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,189百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が202百万円、受取手形及び売掛金が1,817百万円、電子記録債権が310百万円、たな卸資産が744百万円、有形固定資産が1,429百万円、投資その他の資産が615百万円であります。

負債は1,707百万円となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金が797百万円、電子記録債務が443百万円、退職給付に係る負債が168百万円であります。

純資産は3,481百万円となりました。主な内訳は利益剰余金3,145百万円であります。

なお、第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は202百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、117百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税金等調整前四半期純利益238百万円の計上、売上債権の減少による資金の増加額295百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少額153百万円、仕入債務の減少による資金の減少額102百万円、法人税等の支払いによる資金の減少額87百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、74百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が59百万円、保険積立金の積立による支出が11百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、108百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出が108百万円あったことなどが主な要因であります。

なお、第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、現時点において、平成27年8月3日付の「平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境により、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間から、NIC Autotec(Thailand) Co., Ltd.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	202,168
受取手形及び売掛金	1,817,912
電子記録債権	310,683
商品及び製品	160,573
仕掛品	260,600
原材料及び貯蔵品	323,004
その他	49,395
貸倒引当金	△215
流動資産合計	3,124,121
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,777,675
減価償却累計額	△1,026,728
建物(純額)	750,947
土地	456,904
その他	738,813
減価償却累計額	△517,515
その他(純額)	221,298
有形固定資産合計	1,429,149
無形固定資産	
その他	20,178
無形固定資産合計	20,178
投資その他の資産	
その他	617,397
貸倒引当金	△1,731
投資その他の資産合計	615,665
固定資産合計	2,064,994
資産合計	5,189,115

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	797,224
電子記録債務	443,734
未払法人税等	90,810
賞与引当金	54,116
製品保証引当金	3,308
その他	104,856
流動負債合計	1,494,049
固定負債	
退職給付に係る負債	168,299
その他	45,385
固定負債合計	213,685
負債合計	1,707,734
純資産の部	
株主資本	
資本金	156,100
資本剰余金	146,100
利益剰余金	3,145,909
自己株式	△34,467
株主資本合計	3,413,642
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	70,881
為替換算調整勘定	△3,329
その他の包括利益累計額合計	67,551
非支配株主持分	187
純資産合計	3,481,380
負債純資産合計	5,189,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,871,985
売上原価	2,165,316
売上総利益	706,668
販売費及び一般管理費	467,928
営業利益	238,740
営業外収益	
仕入割引	2,119
その他	1,085
営業外収益合計	3,204
営業外費用	
為替差損	2,733
手形売却損	57
電子記録債権売却損	167
その他	25
営業外費用合計	2,983
経常利益	238,962
税金等調整前四半期純利益	238,962
法人税、住民税及び事業税	86,141
法人税等調整額	△659
法人税等合計	85,482
四半期純利益	153,479
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△143
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,623

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成27年4月1日
至平成27年9月30日)

四半期純利益	153,479
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△46,765
為替換算調整勘定	△3,379
その他の包括利益合計	△50,145
四半期包括利益	103,334
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	103,511
非支配株主に係る四半期包括利益	△177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成27年4月1日
至平成27年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	238,962
減価償却費	50,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73
賞与引当金の増減額(△は減少)	△283
製品保証引当金の増減額(△は減少)	492
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,734
受取利息及び受取配当金	△198
支払利息及び手形売却損	246
売上債権の増減額(△は増加)	295,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△153,828
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,657
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86,160
為替差損益(△は益)	2,252
その他	△42,404
小計	204,605
利息及び配当金の受取額	198
利息の支払額	△246
法人税等の支払額	△87,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△59,558
無形固定資産の取得による支出	△1,934
投資有価証券の取得による支出	△2,471
保険積立金の積立による支出	△11,508
その他	726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△28
配当金の支払額	△108,466
非支配株主からの払込みによる収入	373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,920
現金及び現金同等物の期首残高	262,243
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,371,783	—
装置部門	1,028,155	—
合計	2,399,938	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	74,279	—
	機械設備	164,838	—
	工具・ツール・油脂類	173,706	—
合計		412,825	—

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,421,719	—	195,866	—
装置部門	660,538	—	370,173	—
商事部門	425,662	—	144,852	—
合計	2,507,921	—	710,891	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,363,068	—
装置部門	1,028,155	—
商事部門	480,761	—
合計	2,871,985	—

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期連結累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
キャノン株式会社	683,238	23.8	—
株式会社トミタ	324,340	11.3	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当社は第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比を記載しておりません。